

『国際人間学フォーラム』 投稿規定 (2013 年度版)

1. 【応募方法】

- (1) 投稿するにあたり事前に執筆意志確認のための応募用紙を、編集委員会委員長 D3・西垣 メールボックス (25 号館・国際人間学研究科事務室内) に締切日必着で提出すること (9 月 30 日月曜日)。
- (2) 応募用紙は、①氏名、②所属、③指導教員名、④連絡先 (E-mail)、⑤原稿の種類 (論文・研究ノート・修士論文要旨・書評)、⑥題名 (英文表記を付ける)、⑦要旨 (800 字以内) を明記すること。

2. 【制限枚数】

- (1) 和文は、400 字詰め原稿用紙に換算して以下に従うこと。(必ず余白なしの偶数頁で終わること)
 - (A4 版用紙 1 行 40 字、40 行……1600 字)
 - ・ [論文] ……32 枚以上 80 枚以下 (A4……8~20 頁)
 - ・ [研究ノート] ……16 枚以上 40 枚以下 (A4……4~10 頁)
 - ・ [修士論文要旨] ……16 枚 (A4……4 頁) [本文は 6200 字 残りはテーマ、専攻、名前]
 - ・ [書評] ……8 枚以上 16 枚以下 (A4……2~4 頁) [本文は 3000 字~6200 字]
- (2) 英文は、原則として [1 行 65 字、ダブルスペース 32 行] とする。
 - [論文] ……60 枚以内 [研究ノート] ……30 枚以内
- (3) 規定違反のものは不採用とする。

3. 【書式】

文字の大きさを 10.5 (pt) とし、A4 版用紙 (縦方向) に原則横書きで印字する

※ 日本語学、日本文学等は縦書きも可とする。

※ A4 版用紙 1 行 40 字、40 行……1600 字

4. 【査読】

- (1) 執筆者は、事前に各自指導教員またはそれに準ずる者 1 名に投稿原稿に対するコメント及び押印をもらい、推薦書として提出すること。
- (2) 推薦書コメント欄には、指導教員等の手による投稿原稿のもつ研究上の意義を明記すること。
- (3) これをもって査読とする。

5. 【原稿の提出】

- (1) 以下の提出物を全て揃えて「完成原稿」とする。
 - ①打ち出した原稿 2 部、②推薦書 (4. (1) 参照)、③原稿データファイル (ファイルは「Word」または「一太郎」の文書ファイルに限る。)
- (2) 「完成原稿」は締切日必着 (10 月 31 日木曜日)。但し、修士論文要旨については 12 月 20

日（金）必着。

- (3) 「完成原稿」の提出方法は、①・②は委員長 D3・西垣メールボックス（25号館・国際人間学研究科事務室内）まで提出する。また③はアドレス「chubuforum@isc.chubu.ac.jp」へ文書ファイルの添付書類として、メールにて送信のこと。

6. 【図表・写真】

論旨の表現において必要なものに限る。

7. 【注・参考文献】

- (1) 注、参考文献は本文末に一括して記すこと。
 (2) 注番号は連番とすること。
 (3) 参考文献の書き方は、原則として以下の方式に従うこと。

単行本の場合：著者名（姓前名後）（出版年号西暦）『本表題』出版社名。

雑誌論文の場合：著者名（姓前名後）（年号）「論文表題」『掲載雑誌名』巻：ページ。

単行本の中に掲載された論文の場合：著者名（姓前名後）（年号）「論文表題」

編集名『本表題』発行所、ページ。

[参考文献例]

趙寛子(2007)『植民地朝鮮／定刻日本の文化連関—ナショナリズムと反復する植民地主義—』有志舎。

*外国語の場合も日本語に準ずるが、年号は（ ）に入れず、ピリオドで区切ること。出版社の前に出版地を入れること。

Vlastos, Stephan. 1986. *Peasant Protests and Uprisings in Tokugawa Japan*. Berkeley. University of California Press.

- (4) 上記のほか、章立て、見出し、引用、注、参考文献などの表記は各学問領域における慣行に拠ることも可能とする。

8. 【ウェブ掲載】

- (1) 本誌に掲載されたことにより、学術情報リポジトリへの公開の承諾を得たものとする。

9. 【投稿資格者】

- (1) 原則として研究科内の院生とする。

*投稿原稿について、採否の最終的な決定権は編集委員会にあります。

*「完成原稿」は返却いたしません。

*お問い合わせは編集委員までお願いします。E-mail：chubuforum@isc.chubu.ac.jp